

Close Up

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

謹賀
2020
新年

Vol.37

2020 1月-3月
2020 1/10発行
TAKE FREE

香港フィルハーモニー管弦楽団

真夏のチャイコ3連投!熱狂コンチェルト

ライト・シンフォニック コンサート ~大人の贅沢~

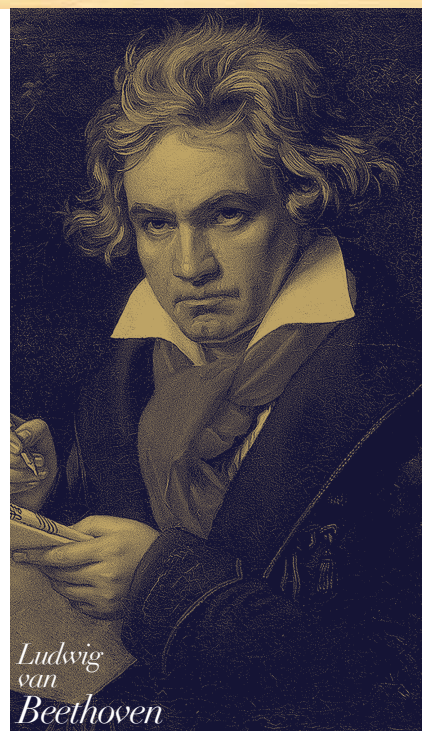
ほか

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン

TOYOTA
MASTER
PLAYERS,
WIEN

ウィーン・ プレミアム・ コンサート

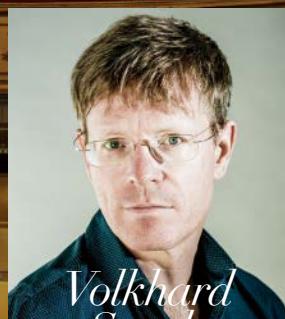
シンフォニア



Ludwig
van
Beethoven



Yu
Kosuge



Volkhard
Steude



Bernhard
Heinrichs



Erwin
Klambauer



Johann
Sebastian
Bach

- 02 ベートーヴェン生誕250周年によせて
04 香港フィルハーモニー管弦楽団
06 トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン ウィーン・プレミアム・コンサート
08 真夏のチャイコ3連投! 熱狂コンチェルト
10 ライト・シンフォニックコンサート〜大人の贅沢〜
11 オールパツハ名曲選!! 真夏のオルガンコンサート2020
12 ギル・シャハム ヴァイオリン・リサイタル
13 神尾真由子 3つのJ.S.パツハ無伴奏ヴァイオリンパルティータ
14 外村理紗 ヴァイオリン・リサイタル
川井郁子 シンフォニック コンサート -情熱-
15 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル2020
The Symphony Hall Big Band Vol.15 スペシャルゲスト 古澤巖
16 山形交響楽団特別演奏会 大阪公演 さくらんぼコンサート2020
17 外山雄三 ドヴォルザーク 交響曲 第8番&第9番
18 日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール Vol.8
3B パツハ×ベートーヴェン×ブラームス
ソワレシンフォニーVol.15.16
19 福岡洸太郎 ピアノ・リサイタル
コロネりか ソプラノ・リサイタル2020
20 工藤重典と世界で活躍する若き音楽家たち
〈モーツァルト フルーツ四重奏曲 全曲演奏会〉
清水和音 ベートーヴェンピアノ協奏曲 全曲演奏会
21 荒庸子 チェロ・リサイタル 2020想い出がいっぱい
珠玉のシネマ名曲SELECTION VOL.6
関西打楽器協会設立35周年記念 パーカッションフェスティバル2020
「スーパー・ガラ・コンサート」
22 日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン
23 elegy 横坂源 チェロ・リサイタル
24 オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 2020-2021
26 ABCテレビ主催公演・イベント情報
30 日本センチュリー交響楽団
32 welcome more musicians!音楽を愛する団体が集う
ザ・シンフォニーホール
33 ホールトピックス
34 堀江政生のシンフォニア・アワーVol.37
35 Concert Calender 2020.1~2020.3

1月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:1月23日(木) 10:00AM~
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※ザ・シンフォニー チケットセンター窓口、館内プレイガイドでの販売はございません。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。
●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
(10:00~18:00 火曜定休)
●WEB:http://www.symphonypall.jp/

シンフォニア会員登録方法
シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
http://www.symphonypall.jp/ からご登録下さい。
▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス
(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3 ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係
※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[@symphonypall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報の利用については、個人情報に関する法令、規則に則正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のために利用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催される事業のご案内(3)印刷物の発送(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発・改善を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

※記載内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

令和二年 2020

オーケストラ、ソロリサイタル、室内楽
2020年も残響2秒という最高の空間で、
至福の音楽をお楽しみください。



謹賀新年

世界の音楽家から愛されるこのホールと音楽を愛する皆様と共に、
ザ・シンフォニーホールは2020年も果敢にチャレンジをしてまいります。
2020年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますように、
そして、ザ・シンフォニーホールで素晴らしいひと時を過ごして頂けますよう、心から祈念申し上げます。

The Symphony Hall

ベートーヴェン 生誕250周年イヤーによせて Ludwig van Beethoven

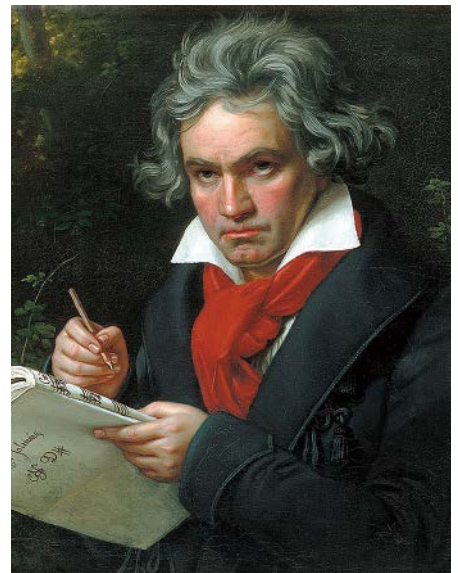
必読!! *TheSymphonyHall* コラム



この凄まじい人生、
ベートーヴェンだからこそ
成し遂げることが出来たのです。
私には絶対無理！

ベートーヴェン生誕250年の
今年、のんびんだらりと生きてき
た朝日放送テレビアナウンサー堀
江政生は、ベートーヴェンの年を
抜かしてしまします。「諸君、拍手
したまえ。喜劇は終わった」と今
際の床で叫び56歳で生涯を閉じた
偉人に比べると、呆れるほど、「普
通」に生きております。

神童モーツァルトにあやかっ
てひと儲けを企んだ父親のスパルタ
教育に耐え、酒の飲みすぎで仕事
を失ったオヤジの代わりに家族を
支え、演奏家として人気が出たの
に聴力を奪われ、作曲をするた
びに常に新しいことを自らに課し、
その激しい気性から人々から疎ま
れ、愛情のかけ方がわからず溺愛



してしまつた甥
は抗議の自殺未
遂、それがきつ
かで体調を崩し
帰らぬ人に：「周
りからは喜劇役
者のように思わ
れていたのでは
ある」という気持
ちが実際の言葉
に表れているん
でしょうね。こ

の凄まじい人生、ベートーヴェン
だからこそ成し遂げることが出来
たのです。音楽の才能と同時に、
試練を乗り越えられる魂を、神様
はベートーヴェンを選んで与えた
のかも。さぞしんどかったことで
しょう。私には絶対無理！普通で



1770年12月に生まれたベートーヴェンの生家博物館にした、「ベートーヴェンハウス」

良かった〜!!
第9は簡単じゃない！
日々努力しないと歌えません。
感動は努力しないと
来ないんですよ!!

ここで普通に生きている私の
ベートーヴェン体験を3つ紹介
しましょう。

① ウィーン留学をしていた息子
のアパートに行ったときのこと。
ベートーヴェンよろしくウィーン
の森を散歩し、ワインで有名なホ
イリゲでベートーヴェンも食べた
であろうちよつと臭みのある血の
ソーセージや、鳥肌みたいにザラ
ザラがある牛タン、そして自家製
白ワインに舌鼓を打っていると、
「おとん、あの鳥の鳴き声!」。息
子に言われ耳を澄ませば、あまり



ウィーンの市立公園にある
ベートーヴェンの像。

聞き慣れない野鳥の声が：「こ
れ、ヴァイオリン協奏曲の3楽章
の主題なんだ。確かに「びびり
びつ」とリズムカルに鳴く声は、3
楽章のリズムと同じ。その鳥たち
がおしゃべりを楽しむかのように
さえずっている。同時期に作つた
田園交響曲では、ウズラやカッ
コウを鳥の声に近い木管楽器を使
っているのに対し、ヴァイオリンを
使って野鳥の会話として表現し
ているのです。本人の耳には聞こ
えていないので、記憶を呼び起
しながら、心の中で鳥たちの語ら
いを楽しんでいたのかもしれない
ん。(残念ながら鳥の名前がわか
らないので誰か教えて下さい)
② かつて、調律師にスポットを当



てたラジオ番組を作りました。ピアニストと調律師がどんな会話をしているかがテーマです。既にきれいに調律されている状態のピアノで悲愴を弾いた岡原慎也さんは「ベートーヴェンのハ短調はもつと『雑味』が欲しい」と注文をつけました。調律師は大きくうなずきながら、なにやら弦を叩くハンマーのフェルトを触り、ピアノの下に潜り込んでペダルをいじり、忙しく弦の張りを調整していく。『雑味のある音』か：なるほど、美しく倍音が響いているだけではベートーヴェンにはならないのか。

まず「第9は簡単じゃない！日々努力しないと歌えません。感動は努力しないと来ないんですよ!!」。人類の平等を訴えながらも、努力をした者こそ尊く、そこに勝利があると言っているのです。ベートーヴェン先生は、演奏者に対し妥協を許さないのでですね。

チャイコフスキーは、**ベートーヴェンが書かなかったバレエ音楽の分野を開拓したのかもしれない**

ところで、苦悩を抱える作曲家は大勢いますが、他でもないベートーヴェンの存在そのものに悩んでいた人がいました。チャイコフスキーです。5番の交響曲は、運命という不安に打ち勝つ。まさに、ベートーヴェンの5番と同様のテーマ。カンタータ「歓喜に寄せる」は、第9の歌詞のロシア語版。モーツァルトは愛している

が、好きでもないのに常にベートーヴェンの呪縛と闘っている。と告白しています。どうにかしてそこから抜け出したいチャイコフスキーは、ベートーヴェンが書かなかったバレエ音楽の分



野を開拓したのかもしれない。どこまで影響力がデカいんだ、ベートーヴェン!!

ここで、普通に生きてきた私のチャイコフスキー体験を一つだけ。

1981年、エフゲニー・ムラヴィンスキー指揮のレニングラード・フィルの横浜公演。チャイコフスキーの5番を聴きに行きたくて手帳に○をつけていたのに、モスクワオリンピックに日本がボイコットしたことなどを理由に来日

取りやめになってしまいました。東西冷戦中の日ソの壁を強く意識した高3の春。(時代は変わるもので、その後のロシアに自分の子どもたちが留学することになるとは…。もとはに戻りたくないですね)

チャイコフスキーはベートーヴェンの70歳下。生誕180周年を迎えます。熱いプログラムが続々!

さて、奇しくもチャイコフスキーは70歳年下。つまり今年、生誕180周年を迎えます。それにちなみ「真夏のチャイコ3連投! 熱狂コンチェルト」と題しチェロの口ココ風の主題による変奏曲・ヴァイオリン協奏曲・ピアノ協奏曲第1番という暑い、もとい熱いプログラムが楽しみです。

そして後世まで影響を与え続けるベートーヴェン。記念コンサートが目玉はこれです。

ピアニスト・横山幸雄さんは、なんと一気に7曲のソナタを演奏します。32曲あるピアノソナタですが、32回革命を起こしたといわれるほどチャレンジを重ねた曲を、順を追って紐解くコンサート。(横山さんらしい、チャレンジングなプログラムです!)横山さんがピアノソナタなら、清水和音さんはピアノ協奏曲の全曲演奏会に挑戦。(休憩を2回で5つの協



堀江政生

(朝日放送テレビアナウンサー)

2004年～09年まで夕方の情報番組「ムーブ!」の総合司会を務める。クラシック音楽好きで、3人の子どもはチェロ・ヴァイオリン・ピアノを弾いている。ABCラジオ「ザ・シンフォニー・ホール・アワー」を担当するほか、本誌「シンフォニア」にてエッセイを執筆中。

奏曲!!。普通5人でやりますよね。誰が何を弾くか喧嘩になりそうですね(笑)。この2人の超人演奏会は聴きごたえ満載です。母国ドイツからはミュンヘン交響楽団が7番と3番の交響曲を質実剛健に。諏訪内晶子さんとニコラ・アンゲリッシュさんのヴァイオリンソナタのデュオは激しさと美しさの融合です。

ザ・シンフォニー・ホールのベートーヴェンイヤーは「凄さ」とそれを表現する演奏家たちの「気迫」を共有する1年になりそうです。

ひたむきに理想を追求する香港フィル。
選りすぐりの傑作で、ホールを圧倒する！

指揮：ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン

香港 フィルハーモニー 管弦楽団

*Hong Kong
Philharmonic Orchestra*

©Wong Kin Chung HK Phil

©Eric Hong HK Phil

英グラモフォン・アワード2019 オーケストラ・オブ・ザ・イヤー受賞！

日本の皆さまと一緒に
素敵な夜を楽しみたい

近年、技巧と音楽性を飛躍的に高めているアジアのオーケストラの中にあつて、国際的な評価を高めている、香港フィルハーモニー管弦楽団。音楽監督のヤープ・ヴァン・ズヴェーデンに率いられ、3年ぶりにザ・シンフォニーホールに登場する。激動の社会情勢のさなかにも、ひたむきに理想の芸術を追究し続ける彼ら。生誕250年を迎えたベートーヴェンの「交響曲第5番《運命》」をはじめ、選りすぐりの傑作へ熱き想いを託す。

「香港フィルは18を超える国のメンバーが在籍する、国際的なオーケストラです」と同フィルのディレクター、メギー・チェン氏は強調。「楽員たちは皆、幅広いレ

3年ぶりとなる
香港フィルハーモニー管弦楽団の
大阪公演が緊急決定！
再び、音楽監督
ヤープ・ヴァン・ズヴェーデンが
オーケストラを率いて来演する。
着実に進化し続けることで
今注目を集めている香港フィルの凄みを
ぜひ体感してほしい。

チェロ：佐藤晴真

ミュンヘン国際音楽コンクール
チェロ部門日本人初の覇者！

©FUKAYA Yoshinobu/aura Y2

Message

今回、僕はチャイコフスキーのロココの主題による変奏曲を演奏いたしますが、他にもワーグナーとベートーヴェンの作品が取り上げられています。一夜にこれほどダイナミックなプログラムをお楽しみいただける機会は決して多くありません。僕も皆様と共に、特別な時間を楽しみたいと思います。是非足をお運びください!!

生誕250年を迎えたベートーヴェンの9つの交響曲から、第5番《運命》を軸に、「世界中の音楽ファンが、楽聖のメモリアル・イヤーを祝います。私たちもあえて、ベートーヴェンの作品の中で、最も人気がある《運命》を選びました。ヤープはパワフルで激しく、卓越した解釈を施し、一味違った名演を届けてくれるはずです!」とチェンは自信を見せる。

名匠がどう導くのか、とても興味があります

重厚な音のイメージがあります。今回、僕が演奏させていたただくチャイコフスキーは、それらとは全く違った音楽です。だからこそ彼が持ちになっている、自分にはないインスピレーションを、その指揮からできるだけ多く受け取って、化学反応を楽しみたい。今からとても楽しみです!と佐藤。

発売中

[指揮] ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン
[チェロ] 佐藤晴真
[管弦楽] 香港フィルハーモニー管弦楽団

ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲／
チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33／
ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調「運命」 op.67

2020.3/5(木) 7:00PM

S 8,500円 A 7,500円 B 5,000円(税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] The Hong Kong Philharmonic Society Limited／
ザ・シンフォニーホール

(文) 笹田和人

「パートリ」を表現し尽くすだけの柔軟な感性とテクニックを持っています。今回の日本公演でも、魅力的な解釈で、ハッと息をのむような、卓越したパフォーマンส์をお約束します。日本の皆さまと一緒に素敵な夜を楽しみたいですね!」

第2次世界大戦後にイギリス統治が再開されたばかりの1947年、「中英管弦楽団」として設立され、1957年に現名前に。イギリスのデイヴィッド・アサートンやオランダのエド・デ・ワールトラ名匠が歴代の音楽監

督を務め、世界的なオーケストラとしての実力を醸成。2012年からは、オランダ出身の名匠ズヴェーデンがシェフに就任し、特に注目の度合いを高めている。「ヤープと最初に共演した時に、私たちは既に大きな可能性を感じ、成功を確信しました」と振り返るチェン。かつて名門ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のコンサートマスターを務めていたズヴェーデンは、巨匠レナード・バーンスタインの強い勧めをきっかけとして、指揮者へ転身しただけに、オーケストラの「内面」を知

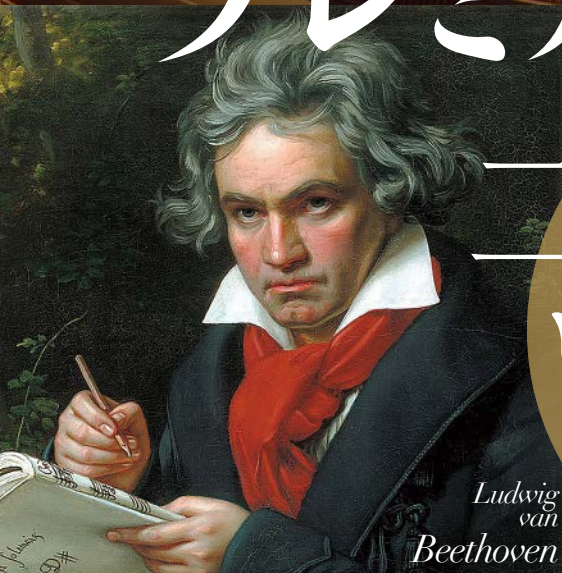
り尽くしている点が、その大きな理由のひとつに挙げられよう。「音楽監督によって、技術的な要求や音のバランス、解釈は様々。レパートリーも異なり、ソリストや客演指揮者の選択も変わります。彼がシェフに就いて以来、やはり楽団は変化しました。メンパーはヤープの下で新たな経験を重ね、音楽に対する鋭い洞察力をいつそう高めている、と実感しています。彼はオーケストラをより高い、理想のレヴェルへと導いています」

今回の大阪公演のメインには、

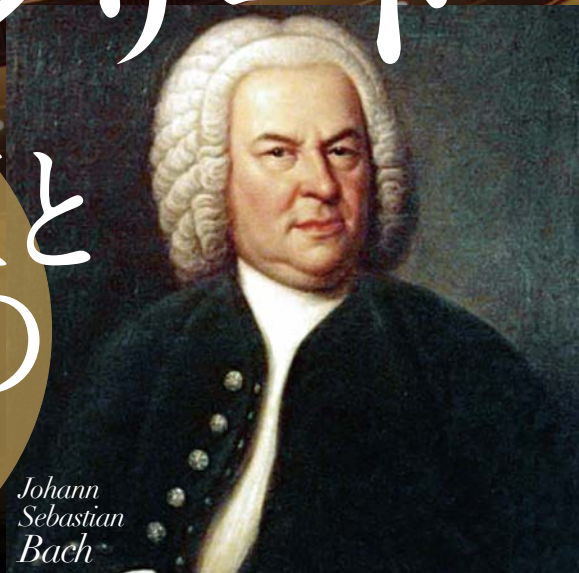
トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン TOYOTA MASTER PLAYERS, WIEN

ウィーン・ プレミアム・コンサート

二大巨匠と ウィーンの世界!



Ludwig
van
Beethoven



Johann
Sebastian
Bach

30名の精鋭が奏でる至高のアンサンブル、
バッハとベートーヴェンの傑作を味わう!

管弦楽: トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン

©Ayumi Kakamu



ウィーン・ プレミアム・コンサート

音楽の感動をより多くの方々にお届けするために、トヨタ自動車株式会社が2000年より社会貢献活動(文化・芸術支援)の一環として開催。世界トップクラスの奏者たちによる芸術鑑賞の機会を、より多くの方々に提供したいという想いから、お求めやすい価格設定としている。さらに各地で開催される公演に加えて、次代を担う青少年の方々や音楽を学んでいるの方々を対象とした特別プログラムとして、公演招待、公開リハーサル、ふれあいコンサートなどの企画も実施。

一度ご体験いただければ、
必ずご満足いただける

「音楽の街」の名手たちが、ザ・シンフォニーホールへ再び降臨する。「トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン(以下TOMAS)」は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーを中心に、ヨーロッパ中の名門オーケストラから選りすぐられた首席級の30人で組織。日本でのみ聴くことができる、夢のオーケストラだ。今回は、「二大巨匠とウィーンの世界」と題して、2020年で生誕250年を迎えたベートーヴェンの傑作を軸に、バッハの佳品を併せて取り上げる。

TOMASの公演は、ウィーン・フィルの母体であるウィーン国立歌劇場の協力により、同フィルの首席クラリネット奏者、ベーター・シュミードルを芸術監督に迎えて、2000年にスタート。これまでに日本全国で計124公演が開催され、延べ20万人以上の聴衆が、名アンサンブルに酔いしれた。現在は、ウィーン国立歌劇場のドミニク・マイヤー総監督が名誉監督に。ウィーン・フィルのコンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデが芸術監督を務め、精鋭集団をリードしている。

「TOMASのメンバー30人には、オーストリアはもちろん、スイ



オーボエ:ベルンハルト・ハインリヒス



フルート:エルヴィン・クランバウアー



ピアノ:小菅 優



©Andrej Grilo

芸術監督/コンサートマスター:フォルクハルト・シュトイデ
1999年よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務め、2002年にはシュトイデ弦楽四重奏団を結成する、その他、室内楽やソロなど、精力的に活動をしている。

スやドイツ出身者で構成されますが、取り上げるのはほとんど、ウィーンにちなむ音楽です」とシュトイデ。「私たちは普通のオーケストラと一味違って、指揮者なしで、ひとつのグループとして演奏するのを、スタイルとしています。一度ご体験いただければ、必ずやご満足いただけたでしょう」と語る。

今回は、全国7都市を巡演するTOMAS。大阪公演では、今年がメモリアル・イヤーとなるベートーヴェンの傑作の森から、「交響曲第5番《運命》」と「ピアノ協奏曲第3番」を取り上げる。1807年、36歳の楽聖が作曲した《運命》は、誰もが知る、名曲中の名曲。大きな編成のオーケストラで奏されることも多いが、卓越した30人

の名手たちによって創り上げられる、創意と自発性に満ちた瑞々しいサウンドは、これまでに体験したことのない感動を与えてくれるはず。

そして、ベートーヴェンが残したピアノ協奏曲の中で、唯一の短調を採る第3番。耳の不調を感じ始めた30歳を目前に着手され、有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」(1802年)をしたためて死を覚悟した時期を乗り越え、1803年に完成した作品には、凛とした運命に對峙する決意が滲む。

ウィーンの名手たちとの化学反応が楽しみ

ソリストとして佳品に對峙するのは、技巧と歌心、創意が三位一体となったプレーで、国際的な活動を展開する小菅優。ソナタ全曲演奏・録音を好評のうちに完遂し、現在はピアノを伴う様々な作品を取り上げる新シリーズ「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる彼女だけに、ウィーンの名手たちとの化学反応が楽しみだ。

ここへ組み合わされるのが、楽聖と共に、ドイツ三大Bの1人に位置付けられ、音楽の父とも称えられるバッハの2つの傑作。まずは宮廷楽団を務めた30代の頃に成立したと推測されている4

つの管弦楽組曲から「第2番」を。ウィーン交響楽団のソロ・フルート奏者、エルヴィン・クランバウアーの美しい音色をフィーチャーして披露する。

さらに、チューリッヒ歌劇場管弦楽団ソロ・オーボエ奏者、ベルンハルト・ハインリヒスとシュトイデをソリストに据え、「オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調」を取り上げる。この作品は本来、「2台のチェンバロのための協奏曲」として伝わるが、オーボエとヴァイオリンのための二重協奏曲からの編曲だと推測され、復元された、原曲の形での上演も盛ん。2人の名手の艶やかな音色の対比が、堪能できるだろう。

「日本のお客様は心優しく、知的で洗練された人々です。私はこの四半世紀、ウィーン・フィルの公演や、TOMASのツアーのために来日を重ねていますが、皆さんはとても熱心で、知識が豊富。終演後に質問に来られる方も多くいて、音楽家冥利に尽きますね。そして音楽、とりわけオーケストラの音楽家をこよなく愛して下さる。お客様に深い友情を感じられるなんて、何と幸せなのでしょう」と熱っぽく語るシュトイデ。「皆さん! ホールでお会いしましょう!」と、最後は日本語で(一)締め括った。

(文 笹田和人)

[管弦楽]トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン
[芸術監督/コンサートマスター]フォルクハルト・シュトイデ
[ピアノ]小菅 優 [フルート]エルヴィン・クランバウアー
[オーボエ]ベルンハルト・ハインリヒス

J.S.バッハ:管弦楽組曲 第2番 短調 BWV1067/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第3番 短調 op.37/J.S.バッハ:オーボエとヴァイオリンのための協奏曲二短調 BWV1060/ベートーヴェン:交響曲 第5番 短調「運命」 op.67

2020.4/4(土) 2:00PM

S 6,500円 A 5,500円 B 4,000円 (税込)

[お問合せ]大阪アーティスト協会 06-6135-0503

[主催]トヨタ自動車株式会社

発売中

★公開リハーサルにご招待!

音楽づくりの過程を体験できる貴重なチャンス!ぜひチェックしてください。

■日時:大阪公演 4月4日(土) 11:00開始予定

■応募方法:インターネットもしくは郵便ハガキ。(団体申込はお電話のみ)

■応募締切:2020年2月28日(金)

◎ハガキでのお申込み (2020年2月28日(金)消印有効)

【必要事項】氏名、フリガナ、年齢、成人引率者の氏名(小中学生のお申込の場合)、郵便番号、住所、電話番号、公演日

【宛先】〒102-8787 半蔵門駅前郵便局 局留 ウィーン・プレミアム・コンサート事務局「公開リハーサル②」係

◎インターネットからのお申込み <https://www.toyota.co.jp/cmpnform/pub/co/tomasrehearsal>

※お一人様につき1回の応募に限り。※団体申込は、お電話(03-5210-7555)のみでの受付となります。※応募者多数の場合は、抽選となります。当選の発表は招待状の発送をもって代えさせていただきます。

は、不動の人気を誇るチャイコフスキーのコンチェルト3曲を飯森範親&日本センチュリー交響楽団が一気に演奏する。3曲ともに、チャイコフスキー国際コンクールの課題曲になっている作品だ。チャイコフスキーの名曲中の名曲が揃ったチャイコ3味のこのコンサート。休日のマチネゆえに、チャイコフスキーのことを知りたい子どもたちにもおすすめ! この日のために、世界的に認められたトップクラスの実力を誇る3人が大阪に集結する。

国際コンクールのピアノ部門で女性初、そして日本人初の優勝に輝いた上原彩子。10歳前後から国際コンクールで優勝、上位入賞を重ねてきた。当時の彼女は音楽大学に在籍せずに、強い意思をもってピアノの勉強を続けていた。ロシア音楽をこよなく愛していると語っていた上原は、持ち味であるダイナミックかつ繊細な表現で、深いリリシズムを湛えたチャイコフスキーを聴かせてくれることだろう。

また、同コンクールで最高位を獲得したヴァイオリンの川久保陽紀は、《ヴァイオリン協奏曲》を弾く。数年前、ロシア・ピアニズムの重鎮エリソヴィルサラージェが、共演した川久保の音楽を絶賛していたのを思い出す。アメリカ育ちの彼女がドイツへ渡り、14歳の時に名匠ザハール・プロンの前で初めて弾いた曲が、この作品だという。気品にあふれ、安定した演奏技巧を誇る彼女は、この協奏曲の華やかさとその中に佇む素朴な息遣いをどのように聴かせてくれるのか楽しみだ。

揺るぎない信頼関係
見事な音楽の構築に期待

そして、チェロの独奏とオーケストラのための《ロココ風の主題による変奏曲》のソリストを務めるのは、イギリスをベースに活躍する伊藤悠貴。15歳でイギリスへ渡り、王立音楽院を首席で卒業。2010年にはブラームス国際コンクールで優勝し、注目を集めた。チェロのさまざまな技巧やロココ的な情趣とともに、ロシアの哀愁が折り合わされたこの作品を、伊藤は磨き抜かれた感性和卓越したテクニックを通して、高度に洗練された音楽を示してくれるに違いない。

日本センチュリー交響楽団の首席指揮者 飯森範親は、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者を経験し、同楽団とレコーディングを行なうなど、ロシア音楽も得意とする指揮者だ。揺るぎない信頼関係のもと、阿吽の呼吸でソリストとの見事な音楽の構築が期待できる。



ピアノ:上原彩子



ヴァイオリン:川久保陽紀



チェロ:伊藤悠貴



指揮:飯森範親

真夏のチャイコ3連投!

熱狂コンチェルト

Tchaikovsky Concerto

3人の強力な
ソリストを迎えて——
情熱たっぷりに
届ける3連投!

名曲中の名曲が揃った
チャイコ3味のコンサート

ピョートル・チャイコフスキーは、人気作曲家ランキングの上位の常連だ。艶やかで流れるようなメロディと表情豊かなオーケストラの響き、感傷的で同時に凛々しい情感を湛え、どこかしら懐かしさの漂うチャイコフスキーの音世界。ことに、彼のオーケストラ作品は立ち昇ってゆくような熱いパッションに満ちあふれ、その広大で壮麗なスケールを誇る音楽は、聴く者に深い感動を与えてくれる。

古今東西、老若男女問わず愛され続けるチャイコフスキー作品。この夏、ザ・シンフォニーホールで

ロシアとチャイコフスキーにゆかりのあるアーティストによる「真夏のチャイコ」。これまで経験したことのないような熱いセッションを繰り広げ、極上のチャイコフスキーを存分に満喫させてくれるだろう。

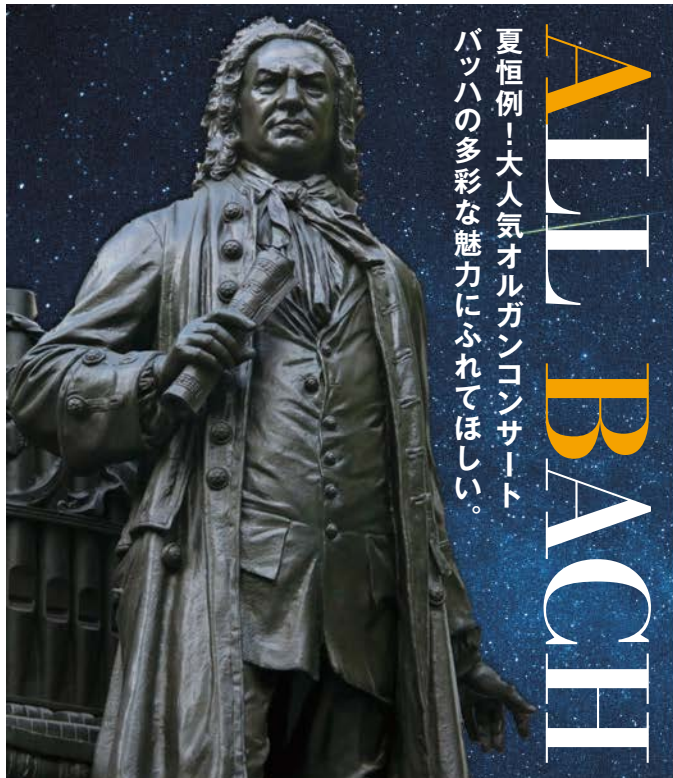
(文 道下京子)

[チェロ] 伊藤悠貴 [ヴァイオリン] 川久保陽紀 [ピアノ] 上原彩子
[指揮] 飯森範親 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

チャイコフスキー: ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33
チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

2020.8/2(日) 2:00PM
S 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)
[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/23(木) 一般発売: 1/26(日)



夏恒例! 大人気オルガンコンサート
バッハの多彩な魅力にふれてほしい。

ALL BACH

オールバッハ名曲選!! 真夏のオルガン コンサート 2020



オルガン・アダマ・タバイディ

どこまでも神聖な心地に
してくれるプログラム

美しく煌びやかな旋律を届ける
ザ・シンフォニー・ホールの《真夏の
オルガンコンサート》。毎年バッ
ハの命日(7月28日)に近い日程で
開催され、本公演で5回目を迎え
る。オルガンの名奏者が奏でる荘
厳な響きと多彩な音色は、まるで
ザ・シンフォニー・ホールに温かな
光を放つよう。毎年コンサートを
楽しみにしているファンは増え続
け、完売が続いている。

今回のオルガニストには、
2019年9月に札幌コンサート
ホール Kitara の第21代専属
オルガニストに就任したアダマ・
タバイディを迎える。Kitara
a で一年間の専属オルガニストと
しての活動を終えた歴代のオル
ガニストは、日本での活動を糧に、
魅力的なオルガニストとして成長
し、世界各地で活躍を続けている。
タバイディは、1993年ハンガ
リー生まれ。パリ国立高等音楽院
在学中には、ヴェルサイユ宮殿王
室礼拝堂やシャルトル大聖堂など
で多数コンサートを開催し、パリ・
ノートルダム大聖堂始まって以降
初となるオルガニスト研修生も務
めた。

プログラムは、300年の時を
経て愛されている「前奏曲とフー
ガ」長調 BWV541「トリオ・
ソナタ」ハ長調 BWV529
／さまざまな手法による18のライブツィヒ・コラール集より いざ来たれ、異教徒
の救い人 BWV659／シューブレー・コラール集より 目覚めよ、と呼ぶ声あり
BWV645／フーガ ト短調 BWV578／J.S.バッハ／デュプレ: カンタータ「神よ、
われら汝に感謝す」 BWV29より シンフォニア ニ長調／ヴィヴァルディ／J.S.バッ
ハ: 協奏曲 ニ短調 BWV596

ソナタ「ハ長調」神聖な心地にさ
せるコラール、そしてヴィヴァル
ディの作品をバッハがオルガン独
奏曲として編曲した「オルガン協
奏曲」。

バッハが亡くなった真夏の夜
に、若きオルガン奏者・タバイディ
が奏でる名曲の調べに浸る時、私
たちの心に、どのような景色を届
けてくれるのだろうか。バッハの
旋律が、タバイディが生まれ育つ
たハンガリー、オルガンを学んだ
フランス、そして日本の架け橋に
なり、ザ・シンフォニー・ホール中で
一体となる瞬間が待ち受けてい
る。

(文 金子真由)

[オルガン] アダム・タバイディ

J.S.バッハ: 前奏曲とフーガ ト長調 BWV541/トリオ・ソナタ ハ長調 BWV529
／さまざまな手法による18のライブツィヒ・コラール集より いざ来たれ、異教徒
の救い人 BWV659／シューブレー・コラール集より 目覚めよ、と呼ぶ声あり
BWV645／フーガ ト短調 BWV578／J.S.バッハ／デュプレ: カンタータ「神よ、
われら汝に感謝す」 BWV29より シンフォニア ニ長調／ヴィヴァルディ／J.S.バッ
ハ: 協奏曲 ニ短調 BWV596

2020.7/25(土) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 2,200円 (税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニー・ホール

先行予約: 1/23(木) 一般発売: 1/26(日)

発売中

[オルガン] 富田一樹

オール バッハ・プログラム: 前奏曲とフーガ イ短調 BWV543／おお
人よ、汝の罪の大きいなるを嘆け BWV622／「マルチェッロのアダー
ジョ」(オーボエ協奏曲より第2楽章) BWV974-2／前奏曲とフーガ
ハ長調 BWV531／トリオ ニ短調 BWV583／主よ、人の望みの喜
びよ BWV147／パスカルリア ハ短調 BWV582

2020.3/21(土) 7:00PM

全席指定 2,200円 (税込) ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニー・ホール

バッハ生誕の日に捧げる
名曲決定版!!

バッハ国際コンクール優勝
富田一樹
バッハ名曲
決定版

好評発売中

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ライト・シンフォニック
コンサート
～大人の贅沢～

ラグジュアリーな時間を過ごしたい大人たちへ

ひとたび演奏が始まると
魅了されずにはいられない

2017年から始まった「ライト・シンフォニックコンサート」大人の贅沢」。これまで魅力的なアーティストとオーケストラとの演奏で、ジャズ、映画音楽、タングなど、多くの人に親しまれて、優雅でノスタルジックな名曲を届けてきた。まるで洒落たような気軽な感覚で、日常から離れて、ラグジュアリーなひと時を過ごすことのできる、大人の贅沢にぴったりのコンサートシリーズだ。

客席を埋め尽くした昨年の大好評に引き続き、今年もヴァイ

オリンの女神」と称される川井郁子が登場する。美しい佇まいで、ひとたび演奏が始まると、誰もが魅了されずにはいられない。時にはヴァイオリンと歌うように、そしてオーケストラの音色に包まれながらダンスを踊るように演奏する姿は独特の演奏スタイル。音楽、衣裳、表情や仕草など全てが合わさって、川井郁子の世界観に導かれれば、観客は五感が満たされ、ロマンティックな心地になるのだ。

そんな心を虜にする演奏は、川井が抱く人間愛と結びついている。自身の出産をきっかけに、2007年に、『川井郁子 Mother Hand 基金』を設立。

チャリティーコンサートを開催し、開発途上国を訪問して子供たちの前で演奏するなど、ヴァイオリンを通して社会活動を行っている。音楽家としての純粋で真直ぐな使命感が、聴く人の魂を揺さぶるのだろう。

今回演奏する曲目は、J・ウィリアムズ《シンドラのリスト》、宮川泰《宇宙戦艦ヤマト》、フィギュアスケーターの羽生結弦選手が、2014年ソチ五輪のエキシビションで披露した、チャイコフスキー《白鳥の湖》をモチーフにした、川井郁子作曲《ホワイ・トレジェンド》など、ジャンルを超えて心の機微に触れる名曲の数々が集められた。2月には、

ザ・シンフォニーホールで川井のソロコンサートが開催されるが、大阪交響楽団とのハーモニーを味わえる本コンサートならではの演奏も楽しみたい。ヴァイオリンから紡ぎ出される愛の調べは、まるで女神の雫のように客席に染み渡り、壮大なオーケストラの響きと溶け合っ、たっぴりと心を満たしてくれるだろう。

タクトを振るのは、同シリーズ初登場となり、川井とも初共演となる松元宏康。夏の昼間に、ザ・シンフォニーホールの舞台上に舞い降りた女神と、奇跡のような化学反応が待ち受けている。

(文 金子真由)

[指揮]松元宏康 [ヴァイオリン]川井郁子
[管弦楽]大阪交響楽団

ヴィヴァルディ:「四季」より/バルトーク:「ルーマニア民俗舞曲」より/川井郁子:ホワイト・レジェンド「白鳥の湖」より/M.モ:愛の讃歌/G.M.ロドリゲス:ラ・クンパルシータ/ピアソラ:ソレタッド(孤独)/宮川泰:宇宙戦艦ヤマト/J.ウィリアムズ:シンドラのリスト/ホルスト:ジュピター

2020.7/18(土) 2:00PM

S 5,500円 A 4,400円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/公益社団法人 大阪交響楽団

先行予約:1/23(木) 一般発売:1/26(日)

3/6
(Fri)



神尾真由子 3つのJ.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリン パルティータ

地元大阪で高らかに響かせるソロ。
パルティータ全曲に初挑戦!

明快で筋道の通った意思は、
新たな息吹と輝きをもたらすに違いない

2007年に難関チャイコフスキー国際
コンクールで日本人2人目の優勝を飾った
神尾真由子(violin)。その後も持ち前の超絶
技巧と濃密な表現を磨き、国際的ヴァイオ
リニストとして活躍中の彼女は、実は大阪
府豊中市の出身。これまではチャイコフス
キー、パガニーニ、ブラームス、R. シュト
ラウスといったロマン派以降の華麗な作品
を得意とするイメージが強かったが、今回
はバロックの巨匠J.S. バッハが残した
ヴァイオリンの旧約聖書と讃えられる無
伴奏パルティータ第1〜3番の全曲演奏に

初挑戦する!

過去のインタビューによると、神尾は、
「バッハはとてもしばしば作曲家で勉強もし
てきたが、無伴奏作品をリサイタルで取り
上げた経験は少ない」とのこと。また、「特
別な作品だからホールやプログラミングな
ども考慮して、それにふさわしい態勢で臨
むべきだ」とも考えてきたそうで、今回の
公演に力を入れる意気込みの強さと現在の充
実した音楽環境が窺われる。

バッハの3つの無伴奏パルティータは、
様々な舞曲を自由に配列した組曲形式で
書かれているのが特徴。その表現には、堅
牢で見通しのよい造形力が求められ、近年
は古楽器によるヴィヴァートを用いない解
釈なども流行している。この点、モダン楽
器の名器ストラディヴァリウスを所有す
る彼女はかつて、「自分のような楽器を持
つ奏者がつまみ食いのように立ち入る領
域ではない。少なくとも3〜4年は勉強
しなくては」と語っていた。今回の彼女が
どんな楽器と解釈を採用するのか定かだ
はないが、10歳のデビュー当時から変わら
ないこうした明快で筋道の通った意思は、
バッハの金字塔に新たな息吹と輝きをもた
らすに違いない。

そして今回の公演で特に注目なのが、パ
ルティータ第2番の最終曲にあたる「シャ
コンヌ」。冒頭に表れるわずか8小節の
主題を30回繰り返しながら様々に変容さ
せることで荘厳で秀麗な伽藍を築き上げ
るこの傑作を、神尾は小学6年生の時に
ニューヨークのオーディションのために初
めて演奏したという。以来、彼女にとって
思い出の大切な作品であり続けてきた本

発売中

「ヴァイオリン」神尾真由子

J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第1
番 短調 BWV1002 / 無伴奏ヴァイオリンのためのパ
ルティータ 第2番 短調 BWV1004 / 無伴奏ヴァイオリンの
ためのパルティータ 第3番 長調 BWV1006

2020.3/6(金) 7:00PM

全席指定 5,000円 (税込)

【お問合せ】カジモト・イープラス 0570-06-9960

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】KAJIMOTO / ザ・シンフォニーホール

神尾真由子 Message

バッハの無伴奏パルティータ全曲に初めて挑戦します。
私は、この曲を人前で演奏するのは、研究して自信がつ
いてから、になると思っていました。今回取り上げるのは、
決して自信がついたからではありません。どちらかと言
うと、自分のなかで納得したからかな...と思っています。
バッハの崇高な数学的な美しさを、いまの自分で弾いて
みたいな、という気持ちが上回ったからだだと思います。会
場の皆さんと「バッハの美」を共有できるとこれ以上幸
いな事はありません。

神尾真由子

(文 渡辺謙太郎)

ギル・シャハム ヴァイオリン・ リサイタル

グラミー賞はじめ、数々の賞歴を誇る
巨匠による、ザ・シンフォニーホール初リサイタル

ギル・シャハムと江口にしか成し得ない
唯一無二の音楽、二期一会の名演に期待

ギル・シャハムは、艶やかな音色と流麗な
歌い回しを備えた天才少年として早くから
頭角を現し、世界的な名手の一人として長
年華々しい活躍を繰り広げてきた。また、
両親が科学者という影響もあってだろう
か、非常に知的で謙虚な人柄で知られ、作品
の忠実な再現に徹底的にこだわるアプロ
ーチも大きな魅力になっている。そんなシャ
ハムは過去にオーケストラのソリストとし
てザ・シンフォニーホールの舞台に二度登
場しているが、この度、無伴奏及びピアノと
のデュオによる初リサイタルが決定した!
当記事に先立つ公演チラシにもある通
り、彼の座右の銘は、「私は勤勉を余儀なく



されてきた。誰であろうと、私と同じよう
に勤勉ならば、同じように成功するだろう」
という音楽の父J.S. バッハの晩年の言
葉。今回はそのバッハの傑作として名高い
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番を軸に、
フォーレ、クライスラー、メシアン、ウィー
ラーと、近現代まで及ぶ多彩なプログラム
を披露する。

シャハムはバッハの無伴奏作品を30年以
上研究し、さらに10年間に渡って演奏会で
頻繁に取り上げた後、2014年に満を持
して全曲録音。ヴィヴァートを多用した
瑞々しく柔軟な解釈が大好評を博したこと
は記憶に新しい。そこからさらに約5年を
経て円熟も加味された今回のソナタ第2番
は、現代最高峰のバッハ演奏としてファン
に語り継がれるに違いない。また、現代作
曲家ウィーラーが最近発表したばかりのソ
ナタ第2番は、昨年のシャハムの来日公演
でも演奏されており、より深く練れた名演
が期待できそう。

こうしたシャハムの妙技をバッハの無
伴奏作品を除く全曲でサポートするのが、

発売中

「ヴァイオリン」ギル・シャハム [ピアノ] 江口 玲

メシアン: 主題と変奏 / スコット・ウィーラー: ヴァイオリン・ソナタ 第2
番「歌うトルコ人」 / J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ
短調 BWV1003 / クライスラー: ブニャーニの様式による前奏曲とア
レグロ / フォーレ: ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 op.13

2020.6/27(土) 7:00PM

S 8,800円 A 6,600円 (税込)

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

(文 渡辺謙太郎)

長年の盟友である江口玲。最初の出会い
は1987年に遡り、交友は30年以上に渡
るといふ。また、「音色の美しさは天下一品
で、技術面で苦労している姿を見たことが
なく、音楽面では常に冒険心にあふれる自
由な発想の持ち主」と賛辞を惜しまない。
そうした方こそが、常に二期一会の名
演を生み出すのと同時に、その都度異なる
解釈が常に理論的でもあるという、シャハ
ム&江口にしか成し得ない唯一無二の音楽
の原動力になっているのだろう。

「ジャズのセッションってこんな感じだ
ろうか? シャハムとのデュオは二度と同じ
演奏が存在しないから、むしろ再現させず
に一回限りで消滅させるのが一番楽しめる
かな」と語っていた江口。

そんなまさに一夜限りの至高の夜をお聴
き逃しなく!!

6/27
(Sat)



超一流ヴァイオリニストたちの演奏を見逃せない！

6/13 (Sat) 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル2020

ハマのカルスマ ヴァイオリニストが
ザ・シンフォニーホールで初リサイタル！

【ヴァイオリン】石田泰尚 【ピアノ】山中惇史

ドヴォルザーク：ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ op.100 B.183 / スメタナ：わが故郷より
第1曲モデラート 第2曲アンダンティーノ「ボヘミアの幻想」／フアリャ：スペイン舞曲 第1番 歌劇「
はかなき人生」より（クライスラー編）／パッパ：無伴奏ヴァイオリンのためのバルティータ 第2番
二短調 BWV1004より「シャコンヌ」／フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

2020.6/13(土) 7:00PM

全席指定 3,300円（税込）

【お問合せ】テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

【主催】テレビマンユニオン／ザ・シンフォニーホール

【先行予約】1/23(木) 一般発売：1/31(金)



2001年から神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務め、バンドネオンの三浦一馬率いる東京グラント・ソロイスト（TGS）のコンサートマスターとしてもおなじみ。ヴァイオリニストの石田泰尚が、ザ・シンフォニーホールで初となるリサイタルを行う！

坊主頭にサングラスというルックスがあまりにも印象的な彼だが、その音色はまさにイメージ通りの、力強い硬派。だが、毎日計三つことと長時間練習する几帳面な性格がそうで、その賜物と言える几帳面で洗練された音楽性を併せ持っているのも人気の要因になっている。

作曲や編曲でも多岐にわたり活躍しているの若き名手・山中惇史との共演で贈る今回のプログラムは、前半にドヴォルザークのソナチネとフランクのソナタというクラシックの本流を演奏し、神奈川フィルで培った2人の作曲家の真髓を存分に披露。続く後半では、華麗で愛らしいクライスラーの小品と、TGSの十八番でもあるピアソラの傑作を多数お届けする。

2014年に結成した男性のみの硬派弦楽アンサンブル・石田組の公演では、ロックなども積極的に取り上げる石田。ロックやタンゴなど色々なジャンルの音楽を組み合わせると、僕たち弾き手はもちろん、聴き手の皆さんも面白いと思う」と語る彼の幅広く柔軟な魅力が存分に味わえそうだ！！

（文 渡辺謙太郎）

The Symphony Hall Special Selection

2/21 (Fri) 外村理紗 ヴァイオリン・リサイタル

注目の高校生ヴァイオリニスト
無限の可能性とその実力を今からチェック！

【ヴァイオリン】外村理紗 【ピアノ】江口 玲

クライスラー：ブニャーニの様式によるプレリュードとアレグロ／中国の太鼓op.3／チャイコフスキー：ワルツ・スケルツォop.34／憂鬱なセレナードop.26／サラサーテ：スペイン舞曲集 op.23 第2番「サバテアード」／ツィゴイネルワイゼン op.20／ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第7番 八短調 op.30-2／フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8

2019.2/21(金) 7:00PM

全席指定 3,300円（税込）

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



次世代を担う若き才能を、より多くのお客様にいち早く紹介するべく、様々な若手アーティストのコンサートを開催しているザ・シンフォニーホール。2月には、現役高校生ヴァイオリニスト 外村理紗が大阪で初のリサイタルを行う。

2018年にインディアナポリス国際コンクールで2位入賞を果たして以来、様々なコンサートにも積極的に出演している。艶やかな音色と瑞々しい感性、溢れる歌心で、聴くものを魅了。そんな大きな可能性を秘めた彼女のステージを大阪のお客様にも是非楽しんでほしい。

プログラムは、彼女が「リサイタルの機会を頂いたら、絶対に弾きたい」と考えていた」というフランクのソナタ他、ベートーヴェンのソナタは、第7番を披露する。さらには、「思い入れのある、大好きな曲ばかり。アンコールで弾かれることが多いですが、名曲に溢れているのです」という、6つの小品を演奏するなど、多彩なステージを繰り広げていく。

今回のリサイタルでは、インディアナポリスのコンクールの際に、公式伴奏を務めていた江口 玲と初共演。一緒にステージで演奏できることをとても光栄に思い、楽しみにしているという。そして、大阪での初めてのリサイタルについて、「こんな大きなホールでリサイタルができるなんて！」「作品の魅力を最大限にお届けできる演奏会にしたい」と、大舞台へ向けて、意気込みを語った。

7/20 (Mon) The Symphony Hall Big Band ~Music Director 菊池寿人~ Vol.15

2020年、待望の第一弾コンサートが決定！
5度目の共演は「ラテンでマンボ、！」

【出演】The Symphony Hall Big Band

【ヴァイオリン】古澤 巖

プログラムは後日発表。

2020.7/20(金) 7:00PM

S 5,500円 A 4,400円 B 3,300円（税込）

【お問合せ】大阪アートエージェンシー 072-648-3852

【主催】ザ・シンフォニーホール

【先行予約】1/23(木) 一般発売：1/26(日)



ザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドの2020年、第一弾コンサートが決定！スペシャル・ゲストに再び、ヴァイオリニストの古澤巖を迎え、真夏の夜に、圧巻の音のパレードがステージを大いに沸かします！

昨年10月の公演では、「スウィング・ジャズ名曲選」と題して、誰もが聴いたことのあるジャズの名曲を披露。一瞬も聞き逃したくない、洗練された、極上のスウィング・ジャズで、たくさんのお客様の心をわしづかみにし、大盛況のうちに幕を閉じました。そしてこの程、お客様からの「また聴きたい！」という多くの声にお応えして、7月に公演が決定しました。真夏の夜には、熱い音楽でスカッと爽快に！今回のテーマは「ラテン音楽」です。

中南米発祥の音楽で知られるラテンは、ルンバ、サルサ、チャチャチャ、マンボなど、体と心をごきよめでも弾ませてくれます。時に熱く激しく、時に陽気に、トロピカルに。ジャズバンドがお届けするラテンの音楽をお楽しみいただきます。

スーパープレイヤーたちが集結して結成されたザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンドについて、「整然と構築されたアンサンブル」という古澤巖。また、「ヴァイオリンという立ち位置からどのように化学反応を起こしていくか、貴重な経験にあたるもの」と共演に期待を込めています。ラテン×ジャズ×ヴァイオリンの素敵な融合に大注目です！

2/29 (Sat) 川井郁子 シンフォニック コンサート —情熱—

ヴァイオリンのミューズが繰り広げる
聴き手の本能を揺さぶるプログラム

【ヴァイオリン】川井郁子

川井郁子：赤い月／ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番／マルグリット・モノー：愛の讃歌／アンヘル・カブラル：群衆／フアリャ：「恋は魔術師」火祭りの踊り／ストラヴィンスキー：ペトルーシュカ「ロシアの踊り」／ミンクス：「ドン・キホーテ」より ジプシーダンス／ダイアン・ウォーレン：I don't want to miss a thing（「アルマゲドン」のテーマ曲）／ヴェルディ：歌劇「アイダー」より 凱行進行曲

2019.2/29(土) 2:00PM

S 5,500円 A 4,400円（税込）

【お問合せ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】アイケー・オフィス／ザ・シンフォニーホール

発売中



夜ごとその姿を変える月。ただ静かにたおやかに、内に激しく燃え上がる感情を忍ばせて、神秘的ともいえるその存在は、まるで川井郁子が表現する音楽のようである。戦いや祭り、そして恋が引き起こす様々な高揚感や感情をヴァイオリンで魅せていく。

毎年冬恒例の川井郁子のリサイタルコンサート。今回の公演のコンセプトは、「情熱」だ。プログラムには、クラシックから現代音楽まで、多彩なラインナップが並ぶ。身体表現の音楽は高揚する」と語る川井。「ハンガリー舞曲 第5番」「火祭りの踊り」「ロシアの踊り」など、民族色豊かなラインナップも特徴的だ。

他にも、聴き手がストーリーや登場人物に感情移入でき、本能を揺さぶるかのような、プログラムが揃っている。ロックも大好きだという彼女。音楽ジャンルを問わず、ヴァイオリンを通して、常に様々な楽曲に挑戦していく姿もまた、情熱的といえるだろう。光で姿を変える月を女性に見立てた、自作曲の「赤い月」では、パーカッションのクリストファー・ハーディとの初共演も決定しているのだ、こちらもお楽しみに。

2020年5月には、アルバムデビューから20周年という節目を迎える川井郁子は、常に新鮮でどこまでも魅力的なステージを見せてくれる。

春の訪れに心が弾む、そんな新しい季節の午後のひと時に、ヴァイオリンのミューズが繰り広げる情熱の世界を、じっくりと体感していただきたい。

音が描く“DRAMA”



山響さくらんぼコンサート

1階席・2階席を埋め尽くした1200名のお客様から大喝采を浴びた山響さくらんぼコンサート。2020年6月、さくらんぼの季節。山響がザ・シンフォニーホールに帰ってきます！2012年から続く大阪公演では、来場者全員に山形県東根市産のさくらんぼがプレゼントされ、ロビーで開催される、山形物産展も大盛況！食と温泉の国のオーケストラ、山形交響楽団大阪公演の魅力とは？

山響メンバーの音色の魅力が、管弦楽の描く『物語』『ドラマ』を伝える

東京・大阪公演での、OPERA GALAから市民合唱団公演や山形大学の指導まで、多様な活動を展開した1年を振り返り、阪はこう語る。

「この1年、色々な種類のコンサートに指揮しました。バリー・ポッターからシューマンの交響曲、オペラアリアの名曲まで。市民参加型公演も刺激的だった。客演時

代には見えなかった山響の多彩な活動に関わることで、山響の魅力を確認した。プログラミング・音楽の共通言語を創り出すうえで、共演を重ねることでも見えない方向性を掴むことが出来た。楽しいですよ。」

就任1年を経て強まる絆… 常任指揮者 阪哲朗が語る山響の魅力

今回の大阪公演は、管弦楽の魔術師コルサコフの「シェエラザード」

がメイン。

「この作品の魅力は、劇的な物語性、煌びやかな管弦楽、緊張と弛緩が生むダイナミズムなど語りつくせないが、最大の魅力は音だけで描く物語にある。オペラには舞台での芝居があり、物語を展開していく。この作品では、音楽自体が物語を描いていく。特に独奏ヴァイオリン（山響の誇るコンサートマスター・高橋和貴さんの美しい音色！）で奏でられる印象深いモチーフが全曲を通じて何度も登場し、統一感を生むと同時にガイドの役割も果たしている。実は、昨年取り上げたオペラの世界とも共通する魅力がたくさんありますね。舞台には音楽家以外誰もいないのに、千一夜物語が奏でられ、そのドラマの主人公の表情や風景は聴衆の想像力に委ねられている。山響メン



来場者全員に
山形県東根市産
さくらんぼをプレゼント！

©Kazuhiro Suzuki



“山形物産展”で賑わうロビー



© B.Ealovega

バーの妙技が光る室内楽的なソロと、管弦楽の魔術師コルサコフの本領を発揮する音の大伽藍。表現の多様性、大音量から小音量のダイナミクスレンジは、ザ・シンフォニーホールの美しい響きでこそお楽しみいただきたい。私自身、ワクワクしています。」

スウェーデンの至宝 ヤブロンスキーをピアノ独奏に迎えた色彩感溢れるラヴェル

今回のピアノ独奏は、ベーター・ヤブロンスキー。巨匠アシケナーに見出され、国際レーヴェルDeccaでデビューした彼は、ゲルギエフ、シャイー等巨匠達とともに世界のトップオーケストラと共演を重ね、関西でもお馴染み。正

に世界を席巻する大ピアニスト。山響とは初共演。今回は、特にラヴェルの美しい作品を取り上げることが希望したという。

「管弦楽が描くドラマティックな作品が、私が大好きなこのホールでどんな風に響くのか、本当に楽しみ。山響メンバーの魅力も皆さんにお届けできることでしょう。」

山形が誇る絶品の東根市産さくらんぼは、今年も来場者全員にプレゼント。すっかり6月の風物詩として定着した山響大阪公演、皆様のご来場をお待ちしています。

さくらんぼコンサート2020 大阪公演

[指揮] 阪 哲朗 [ピアノ] ベーター・ヤブロンスキー

ムソルグスキー：交響詩「はげ山の一夜」（リムスキー＝コルサコフによる管弦楽編）

ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品35

2020.6/20(土) 2:00PM

S 5,100円 A 4,100円 B 3,100円 (税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 山響チケットサービス 023-616-6607

[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/23(木) 一般発売: 1/27(月)

長きに渡り名声を博すマエストロが魅せる、
2大傑作交響曲！



指揮と作曲の両面で長年、世界的な名声を博す外山雄三。そんな彼と大阪響による注目シリーズ。誰もが知る交響曲の傑作たちを一夜で演奏する。第2弾が早くも決定した！

今回お届けするのは、チェコの国民的作曲家、ドヴォルザークの魅力に光をあてる交響曲第8番&第9番「新世界より」だ。同時代に活躍した先輩のブラームスが、「ドヴォルザーク家のゴミ箱を引っくり返して拾ったメモだけで1曲書ける」と評した言葉は有名で、今回はその象徴である2大傑作交響曲を並べ聴くことで、天才メロディメーカーぶりと豊かな音楽性を存分に味わえるはずだ。

前半に演奏される第8番は、1889年の夏から秋にかけて作曲。当時のドヴォルザークは、チェコの風光明媚な避暑地ヴィンカーに建てた別荘で創作に臨み、大自然の刺激と恵みを存分に受けた本作を生み出した。その最大の特長が、主題の流麗さと、交響曲としては異例なほど長いフレーズの数々。ベートーヴェン「田園」やブラームスの第2番といった自然派交響曲の代表作の系譜に連なるこの名旋律は、チェコ時代の彼の最も重要な作品とも言われている。

後半にお贈りする「新世界より」

（1893年作曲）は、ドヴォルザークがニューヨークの音楽院の院長に就任して渡米した後に書かれ、現地の人々や先住民インディアンの旋律の精神から大きな影響を受けたアメリカ時代の最高傑作に君臨する。外山も本作を、「アメリカでの影響を受けた、西洋伝統のしかりとした構成で書かれている。さらにクラシックの垣根を越えた魅力的なメロディの宝庫」と絶賛している。

演奏前後のお辞儀なども含め、指揮者としての一挙手一投足に一切無駄や虚飾がなく、作品の実像と魅力を丹念に描き出す外山。そんな彼のリクエストに120%の誠実さと正確さで応えようとする大阪響。今回のようなテーマ性の高いプログラムに、この上なくふさわしい贅沢な名コンビと言えるだろう！！

（文 渡辺謙太郎）

発売中

[指揮]外山雄三
[管弦楽]大阪交響楽団

ドヴォルザーク：交響曲 第8番 長調 op.88
交響曲 第9番 短調「新世界より」op.95

2020.5/21(木) 7:00PM
\$ 6,600円 A 5,500円 B 4,400円 (税込)
[お問合せ]公益社団法人 大阪交響楽団
072-226-5522
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団
ザ・シンフォニーホール

プロジェクションマッピング×パイプオルガン 超絶のボヘミアン・ラブソディ QUEEN×ABBA

当初の予定よりオルガニストが変更になりました。石丸由佳に代わり、大木麻理が出演致します。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。



ミューザ川崎シンフォニーホール・オルガニスト

[オルガン]大木麻理

[QUEEN] I WAS BORN TO LOVE YOU (ボーン・トゥ・ラヴ・ユー) ★ / WE WILL ROCK YOU (ウィ・ウィル・ロック・ユー) / DON'T STOP ME NOW (ドン・ストップ・ミー・ナウ) ★ / BOHEMIAN RHAPSODY (ボヘミアン・ラブソディ)
[ABBA] MAMMA MIA (マンマ・ミーア) / DANCING QUEEN (ダンシング・クイーン) ★ / VOULEZ VOUS (ヴーレ・ヴー) ★ / LAY ALL YOUR LOVE ON ME (レイ・オール・ユア・ラヴ・オン・ミー) 順不同 ★プロジェクション・マッピング付

2020.5/17(日) 2:00PM 全席指定 2,750円 (税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

※休憩なし。約60分間のコンサートです

発売中

日本センチュリー交響楽団×ザ・シンフォニーホール Vol.8 **3B バッハ×ベートーヴェン×ブラームス**ドイツの偉大な作曲家たちの名曲を
豪華ソリストの競演で楽しむコンサート[指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]郷古 廉、松浦奈々
[ピアノ]関本昌平 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

発売中

J.S.バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043 (Vn:郷古廉、松浦奈々)/ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61 (Vn:郷古廉)/ブラームス:ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15 (Pf:関本昌平)

2020.2/24(月・祝) 2:00PM

S 6,050円 A 4,950円 B 3,850円 (税込)

[お問合せ]センチュリー・チケットサービス 06-6868-0591

[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール



指揮:飯森範親

ヴァイオリン:郷古 廉

ピアノ:関本昌平

飯森範親が指揮する日本センチュリー交響楽団と、ザ・シンフォニーホールが贈る人気シリーズの第8弾。今回は、ヴァイオリンの郷古廉とピアノの関本昌平という日本が誇る若手実力派2人をソリストに迎え、J.S. バッハ、ベートーヴェン、ブラームス、いわゆる「3大B」の傑作として名高い協奏曲をお届けする。

幕開けを飾るバッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲では、郷古と同響の若きコンサートマスター松浦奈々がソロを担当。対位法を駆使した織物のような作品なので、オケとソリスト2人が緩急自在に織り成す、隅々まで息の合った掛け合いに期待を。

続くベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲は、郷古がこれまでにオーケストラと最も多く共演した十八番のひとつ。第1楽章から長い前奏を持つ壮大な作品だが、彼がその最大の魅力と語る「苦しみの果てにある穏やかさ」が、どのような色彩と起伏をもって描き出されるかに注目だ。

そしてラストに演奏されるブラームスのピアノ協奏曲第1番。「現実から離れて作曲者の心の中に連れ去られるような作品で、第2楽章では全精神を音楽に委ね、祈るような気持ちで弾いている」というソリスト関本の言葉がそのまま音になったような、冬の陽だまりの微笑のような至福のひとときをお楽しみに。

(文 渡辺謙太郎)

<名曲シリーズ>大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.15&Vol.16

Vol.15 2020.5/29(金) 7:00PM ※PM6:50より大友直人によるプレトーク

[指揮]大友直人 [チェロ]宮田 大

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 二短調 op.104/ベートーヴェン:交響曲 第6番 長調 op.68「田園」

A 5,100円 B 3,100円 (税込) 先行予約:1/23(木) 一般発売:2/5(水)

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは2/4(火)より一般発売

Vol.16 2020.11/5(木) 7:00PM ※6:50PMより角田鋼亮によるプレトーク

[指揮]角田鋼亮 [ヴァイオリン]前橋汀子 [オルガン]富田一樹

サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン/マスネ:タイスの瞑想曲/サン＝サーンス:歌劇「サムソンとデリラ」より「パッカーナル」/序奏とロンド・カプリチオーソ/交響曲 第3番 八短調 op.78「オルガン付」

A 5,100円 B 3,100円 (税込) 一般発売:5/27(水)

※大阪フィル・チケットセンター他、プレイガイドは5/26(火)より一般発売

[お問合せ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

Vol.15&Vol.16のセット券は大阪フィル・チケットセンターのみで2/4(火)発売

[主催]公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

7年目に突入の人気シリーズ。
新シーズンのラインナップが決定!

チェロ:宮田 大

指揮:大友直人

©Roland Kirishima

大阪フィルとザ・シンフォニーホールのタッグで、名曲をお贈りする「ソワレ・シンフォニー」。ソワレ・シンフォニーに、華麗なる管弦楽の調べに酔いしれるこの人気シリーズが、2020年も春&秋の2回開催される。毎回、指揮者、ソリストが若手とベテランという組み合わせであることにも注目を集めているこのシリーズだが、新シーズンも豪華なアーティストたちがそろった。

まずは5月開催の「Vol.15」では、昨年に続いて登場の大友直人、そしてチェロの宮田 大の共演で、ドヴォルザークのチェロ協奏曲が披露される。双方はこれまでにも共演を重ねており、息もぴったり。王道プログラムでの直球勝負に期待が高まる。また、ベートーヴェンの交響曲 第6番「田園」という、カップリングにも満足いただけるだろう。

さらに11月の「Vol.16」には、ヴァイオリニストの前橋汀子が「ソワレ」に初登場!大阪フィルの指揮者である角田鋼亮のタクトで、サン＝サーンスをメインにしたプログラムを届ける。サン＝サーンスの交響曲 第3番では、ザ・シンフォニーホールのオルガンコンサートで完売を記録し続ける富田一樹も登場。ヴァイオリン界の巨匠と未来を担う若手という実力派がそろい、ホールを大いに湧かせるだろう。

なお、各公演の10分前には、マエストロによるプレトークが行われるので、ぜひチェックしてほしい。

～ニューアルバム「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ集」日本・欧州同時発売記念～ 福間洸太郎 ピアノ・リサイタル

高度なテクニックでエネルギッシュに披露する
名曲づくしのオール・ベートーヴェン・プログラム！

[ピアノ] 福間洸太郎

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 op.13「悲愴」／ピアノ・ソナタ 第17番 op.31-2「テンペスト」／ピアノ・ソナタ 第14番 op.27-2「月光」／ピアノ・ソナタ 第23番／op.57「熱情」

2020.5/3(日・祝) 2:00PM

全席指定 4,000円(税込)

[お問合せ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] MIYAZAWA & Co./ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/23(木) 一般発売: 1/26(日)



©Marc Bouhiron

若くして頭角を現し、今や多数の演奏会をこなす売れっ子でありながらも、着実に音楽を深化させ、円熟味を醸し出しつつあるピアニストの福間洸太郎。先日は、コンクールに挑む若きピアニストたちの姿を描いた映画『蜜蜂と遠雷』で、人気俳優の松坂桃李が扮する若手奏者のピアノ演奏をつとめ、大きな話題をさらった。レパートリーの広さと多様さを誇る福間だが、ベートーヴェンのソナタ集のCDを4月下旬にリリース予定。ディスク発売に合わせて、ベートーヴェンの名作ソナタをずらりと揃えたりサイタルを開く。

プログラムは、ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」、第17番「テンペスト」、休憩を挟み、後半は第14番「月光」、そして第23番「熱情」といった誰もが知る名曲を取り上げた選曲になっている。

自らすぐれた奏者でありピアノ音楽に新風を吹き込んだベートーヴェンの音楽には、ほとぼしるような情熱と荒ぶるようなエネルギーがみなぎると同時に、ピアノシモでささやくような繊細なリリズムも表現されている。福間は難曲を軽やかにこなすテクニシャンだが、ベートーヴェンらしい骨太の表現力や弱音を巧みにコントロールする高度な技量を持ち合わせている。福間のスケールの大きな演奏が、ザ・シンフォニーホールの聴衆を沸かせてくれるに違いない。

(文 伊藤制子)

コロネりか ソプラノ・リサイタル 2020

ザ・シンフォニーホールに堂々の初登場！
優しく、可憐な歌声を響かせる！

[ソプラノ] コロネりか [ピアノ] 山田武彦

シューベルト(ゲーテ): 野ばら／シューベルト(C.シューベルト): 「ます」／サティ: ジュ・トゥ・ヴー／エルネスト・レクオーナ: マリアラ・オ

2020.6/6(土) 2:00PM

全席指定 3,300円(税込)

[お問合せ] テレビマンユニオン音楽事業部 03-6418-8617

[主催] テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/23(木) 一般発売: 1/26(日)



透明感のある声と洗練された舞台マナーが印象的なコロネりか。彼女に最初に注目したのは、2013年のこと。東京シテイルの演奏会で上演されたプーランクのオペラ「カルメル会修道女の対話」で、修道女コンスタンスをリリカルな声で歌った美しいソプラノがコロネだった。

ベネズエラ生まれ、10歳で来日。聖心女子大と英国王立音楽院で学び、名門ウィグモアホールにデビュー後、ヨーロッパでさまざまなオペラやオトリオの舞台に立って来た。「フィガロの結婚」のスザンナやバルバリーナ、ドニゼッティの「ドン・パスクワレ」のノリーナ、同「運命の娘」のマリーなどの役柄で評価を高めており、現在は駐日ベネズエラ大使夫人としての重責も担っている。

6月にザ・シンフォニーホールに初登場し、可憐な美声を披露してくれる。共演は、ピアノの山田武彦。シューベルトの「ます」「野ばら」、サティの「ジュ・トゥ・ヴー(あなたがほしい)」そしてキューバのエルネスト・レクオーナの「マリアラ・オ」といった歌曲を中心としたプログラムが組まれた。

コロネはレパートリーが大変広く、独仏伊語はもちろんスペイン語、ロシア語など多彩な言語を巧みに歌いこなす。心の琴線に触れる繊細な声に加えて、歌詞の内容を際立たせる卓抜とした表現力を駆使し、大阪に新風を吹き込んでくれるだろう。

(文 伊藤制子)

工藤重典と世界で活躍する若き音楽家たち〈モーツァルト フルート四重奏曲全曲演奏会〉

フルーティスト界の巨匠と若き俊才たちによる オール・モーツァルト・カルテット

[フルート]工藤重典 [ヴァイオリン]辻 彩奈
[ヴィオラ]田原綾子 [チェロ]横坂 源

モーツァルト:フルート四重奏曲 第4番 イ長調 K.298/フルート四重奏曲 第2番 ト長調 K.285a/フルート四重奏曲 第3番 ハ長調 K.285b/フルート四重奏曲 第1番 二長調 K.285/ディベルティメント第17番 二長調 K.334

2020.6/5(金) 7:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問合せ]カジモト・イープラス 0570-06-9960

[主催]KAJIMOTO

先行予約:1/23(木) 一般発売:1/27(月)



写真左より工藤重典、辻 彩奈、横坂 源、田原綾子

楽曲への深い洞察と溢れ出る歌心、確かな技巧で、聴衆を魅了し続けるフルーティストの工藤重典。そんな我が国を代表する名匠が、辻彩奈、田原綾子、横坂源という弦の俊英たちと共に、「フルート四重奏曲」全4曲ほか、モーツァルトの佳品を紡ぐ。

21歳のモーツァルトがパリに向かう途上、マンハイムに立ち寄り、音楽好きの医師から依頼されて書いたと伝わる「フルート四重奏曲第1〜3番」。そして1789年、33歳となった作曲家が、パリで流行していた「第4番」。実はモーツァルト、音程が定まりにくかった当時のフルートを余り好まなかったとされるが、これらの作品は得も言われぬ輝きを放ち、古今のフルーティストにとって、重要なレパートリーであり続けてきた。

10歳でフルートを手にし、今年で55年となる工藤。4年前にモントリオール国際音楽コンクールを制した辻、13年にルーマニア国際で覇者となった田原、10年にミュンヘン国際で第2位の横坂と、難関の登竜門で実績を重ね、国際的に活躍する3人の実力派が、共に傑作へ対峙する。

さらに、モーツァルトが23歳の時に書いたとされる「ディベルティメント第17番」も併せて披露される。本来は、ホルン2本と弦楽合奏のための作品だが、工藤自身の編曲による四重奏版で聴く。

(文 笹田和人)

〜ベートーヴェン生誕250周年記念 特別公演〜 清水和音 ベートーヴェン ピアノ協奏曲 全曲演奏会

アニバーサリーイヤーにふさわしい 清水和音だからこそ成し得る圧巻の全曲演奏！

[ピアノ]清水和音 [指揮]梅田俊明 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19/ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15/ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37/ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58/ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」

2020.7/12(日) 1:00PM

S 8,500円 A 7,000円 B 5,500円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]MIYAZAWA & Co./ザ・シンフォニーホール

先行予約:1/23(木) 一般発売:1/26(日)



©ManaMiki

9つの交響曲と32曲のピアノ・ソナタにより、それぞれのジャンルの金字塔を打ち立てたベートーヴェン。その偉業としてもう一つ忘れてはならないのは、5つのピアノ協奏曲の存在だ。古典派からロマン派への移り変わり、ピアノを主役に繰り広げられる斬新な試みや、オーケストラとの掛け合いの妙。5曲を一度に聴くことで、ベートーヴェンの天才ぶりとピアノの魅力が、改めて認識することになる。

そんな、作曲家の生誕250年記念にぜひ聴いておきたい「ピアノ協奏曲全曲演奏会」を清水和音のピアノと、梅田俊明 指揮 日本センチュリー交響楽団の演奏で体験することができる。

清水にとってベートーヴェンは、年を重ねてもずっと弾き続けたい特別な作曲家だという。その音楽が持つメッセージを、清水はエネルギーみなぎる音と男性的な魅力を持つ表現、そして随所に現れる繊細な美音で、余すところなく届けてくれるだろう。

5曲は作曲年代順に演奏され、清水が「弾くほうも元気でないと全てを受け止めきれない」という華やかな「皇帝」でフィナーレとなる。休憩を2回はさんで約4時間にわたる、聴きごたえたっぷりの演奏会。作曲家の魂を感じながら音楽に浸れば、聴き終える頃には、清水の姿がベートーヴェンに見えてくるかもしれない。

(文 高坂はる香)

荒庸子 チェロ・リサイタル 2020 思い出がいっぱい 珠玉のシネマ名曲SELECTION VOL.6

心地よい高揚感を味わえる。素敵なシネマ名曲をたっぷりと。

[チェロ]荒庸子 [ピアノ] 山田武彦

メンケン:『アラジン』より「ホール・ニュー・ワールド」/『美女と野獣』よりテーマ曲/チャップリン:『ライムライト』より「エターナリー」/ロータ:『ゴッドファーザー』より「愛のテーマ」/マンシーニ:『ひまわり』より「愛のテーマ」/スタイナー:『風と共に去りぬ』より「タラのテーマ」/ハーウィッツ:『ラ・ラ・ランド』より「アナザー・デイ・オブ・サン」/サン＝サーンス:動物の謝肉祭より「白鳥」 ほか

2020.2/29(土) 7:00PM

S 3,300円 A 2,200円 プレミアムシート 4,400円(税込)

※プレミアムシート[S席+スパークリングワイン1杯(開場・休憩時に2Fカフェにてご利用可能)]

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]カノン・ミュージック/ザ・シンフォニーホール

発売中



窓辺に差し込む暖かな木漏れ日、穏やかな春の訪れを感じるころ、荒庸子のチェロ・リサイタルが開催される。

今年も、あの頃を思い出させてくれる懐かしい作品から、近年の大ヒット作品まで、映画の名シーンを彩った「珠玉のシネマ名曲」を中心に、たっぷりと届けていく。子どもの頃から映画が大好きだったという荒庸子自身が、特に影響を受けた映画音楽、その素晴らしいを紹介するべく、一つひとつの音を丁寧に紡ぐように表現。クラシックの小品も演奏されるので、映画音楽ファンにとっては、クラシック音楽の素晴らしいさを知ることにつながるだろう。

回を重ねるごとに進化を続け、リピーターも多いこの大人気のリサイタルは、2020年で6回目を迎える。今年ももちろん、息のぴったりのピアニスト 山田武彦との共演に注目だ。この二人だからこそ繰り広げることができるアレンジ、アドリブ演奏も楽しんでいただきたい。

ザ・シンフォニーホールとの相性も抜群の荒庸子。ホールについて彼女は、「響きが温かく、お客様との距離が近いので、一体感も得られる」と語る。チェロの甘く、ときに切なくなるような心地よい音色に身をゆだね、思い出の映画音楽に想いを馳せる。穏やかに、そして優しい気持ちになれる夜のひとときを過ごして、是非足を運んでほしい。

関西打楽器協会 設立35周年記念〈スーパー・ガラ・コンサート〉

世界の名パーカッショニストたちによる豪華競演を見逃せない!

[出演]ヴィクター・メンドーサ/ストラスブル・パーカッション・アンサンブル/エリック・サミュエル/名倉誠人/オルトグン/三村未佳

ブルーピカソ(ヴィクター・メンドーサ)/新作※初演(ストラスブル・パーカッション・アンサンブル)/カルメンファンタジー、ボギー・アンド・ベス(エリック・サミュエル)/パッパ無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV1011より「前奏曲」直管バスマリンバのための(名倉誠人)/パフォーマンス オン コンガ/インプロビゼーション フォー ジャンベ(オルトグン) ほか

2020.5/4(月・祝) 5:00PM

S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円(税込)

[お問合せ]関西打楽器協会 06-6423-0359 [主催]関西打楽器協会/ザ・シンフォニーホール

先行予約:1/23(木) 一般発売:2/1(土)



世界に名を馳せる凄腕パーカッショニストたちが、ザ・シンフォニーホールに一挙集結! 関西打楽器協会の設立35周年を大いに盛り上げるアーティストたちを紹介する。

60年にわたる活動が世界中から支持されているストラスブル・パーカッション・アンサンブル。打楽器の可能性を追求し続け、メンバーが代わってもそのコンセプトを変えることなく、絶妙なアンサンブルを繰り出す。新作世界初演に期待だ。

パリ管弦楽団の首席奏者であるエリック・サミュエル。すべての打楽器をパーフェクトに操る演奏は、世界のオペラマンのお手本。今回は自身がアレンジした2曲を演奏する。

ニューヨークを拠点に多彩な活動を行い、数々の賞歴を持つ名倉誠人。直管式バスマリンバで披露する究極のテクニクは必見! ジャズ・ヴァイブのスペシャリスト、ヴィクター・メンドーサは、バークリー音楽大学の教授として世界中を駆け巡り演奏。受賞歴・名プレイヤーの輩出等、功績を挙げるとキリがない。

ジャンベ・コンガ奏者のオルトグン。真似できないと言わしめるサウンドに注目だ。またダンスなど、多彩な才能を持つ。そして、大阪出身で現在アメリカで活躍中のジャズブレイヤー・三村未佳。バークリー音楽大学卒業後、ニューヨーク等で多数のセッションを行う。本公演ではヴィクターとの共演で華を添える。



8年の大プロジェクトは折り返し地点。
舞台をザ・シンフォニーホールへ！

[指揮]飯森範親

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソン HAYDN MARATHON

©S.yamamoto

フランス・ヨーゼフ・ハイドンによる全104作の交響曲を、8年計画で披露すると同時に録音し、CD化とハイレゾ配信を行う、日本センチュリー交響楽団と首席指揮者の飯森範親による「ハイドンマラソン」。2015年から年4回のペースで続いている意欲的なプロジェクトが、折り返しの5年目を機に、舞台をザ・シンフォニーホールへ。ハイドンの知られざる魅力をさらに掘り下げてゆく。

「個々の奏者に自発的な演奏を求めるハイドンの作品を通じ、楽団の機能性やサウンドに磨きをかけたい」。スタートの際、意気込みを語っていた飯森。聴衆の支持を得て、全曲の半数にあたる計52曲の演奏・録音を終え、2020年1月には9枚目のCDをリリース予定と、世界的にも稀有な演奏会シリーズへと成長を遂げた。「回を重ねるごとく、楽員たちの「ハイドン愛」も高まって来た」と言う。

後半戦、ハイドンマラソンの幕開けとなる第19回は、『ロンドンセットの魅力』と題して。「ロンドンセット」とは、ハイドンが59歳の1791〜95年の2度のロンドン滞在中に作曲した、全12曲の交響曲(第93〜104番)の俗称。古典期の金字塔と称えられる傑作群から、今回は第1作である第93番、セット中で唯一となる短調作品の

第95番、壮麗な響きに満ちた第97番を聴く。

また、ハイドンの作品に関連づけた、ひとひねりある作品を併せて取り上げるのも、このシリーズの魅力。この日のステージでは、ハイドンが大成功を収めた「ロンドン」にちなみ、20世紀イギリスの巨匠ホルストの「吹奏楽のための第1組曲」を取り上げる。

続いて、2回に渡り、ハイドンが約30年間を過ごした、ハンガリー出身の貴族エステルハージ家の宮廷楽団での仕事を特集。第20回は、皇后を歓迎するために用意したと伝わる第48番「マリア・テレージア」に、第33、36番と30代の働き盛りの作品を。首席ファゴット奏者の安井悠陽の独奏で、20世紀フランスの鬼才ジョリヴェの「ファゴットと室内管弦楽のための協奏曲」を。小粋な雰囲気、ハイドンと共鳴させる。

(文 笹田和人)

ハイドンマラソンHM.19 「ロンドンセットの魅力」

ハイドン交響曲第95番 短調(1791)/ホルスト吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調(1909)/ハイドン交響曲 第93番 二長調(1791)/ハイドン交響曲 第97番 長調(1792)

2020.6/12(金) 7:00PM

先行予約:1/23(木) 一般発売:1/27(月)

ハイドンマラソンHM.20 「エステルハージ家のハイドン1 (働き盛りのハイドン)」

[ファゴット]安井悠陽

ハイドン交響曲 第33番 長調(1762)/ジョリヴェファゴットと室内管弦楽のための協奏曲/ハイドン交響曲 第36番 変ホ長調(1769)/ハイドン交響曲 第48番 長調「マリア・テレージア」(1769)

2020.8/7(金) 7:00PM

一般発売:3月23日(月)

ハイドンマラソンHM.21 「エステルハージ家のハイドン2 (番号と作曲年代にずれ)」

[トロンボーン]ファブリス・ミリシェー

ハイドン交響曲 第40番 長調(1763)/ハイドンアルトトロンボーン協奏曲 二長調(1764)/ハイドン交響曲 第34番 二短調(1763)/ハイドン交響曲第72番 二長調(1763)

2020.10/23(金) 7:00PM

一般発売:5月25日(月)

ハイドンマラソンHM.22 「ハイドンセットの時代からバリ交響曲へ(1782~1785)」

ハイドン歌劇「葉削師」序曲/ハイドン交響曲 第75番 二長調(1782)/ハイドン交響曲 第79番 長調(1784)/ハイドン交響曲 第83番 短調「めんどり」(1785)

2021.2/19(金) 7:00PM

一般発売:9月23日(水)

[各公演]A 5,000円 B 4,000円 (税込) [お問合せ]センチュリーチケットサービス 06-6868-0591 [主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター ▶電話/06-6453-2333 ▶WEB/http://www.symphonihall.jp Sinfonia 22



初のリサイタルで見せる多彩な表情——
作曲家のエネルギーを分かち合う一夜

©フーナーミュージック・ジャパン

カンタービレで深々とした音色を響かせる手腕にも長けている

日本のチェロ界には、かつてない綺羅星のような若き才能たちが次々と登場している。楽器を巧みに操る高度な技巧力と豊かな歌心、そしてそれぞれの楽曲のスタイルを的確に理解し表現する知性を持ち合わせたすぐれた奏者たちが多数輩出され、チェロ界に大変な活況をもたらしている。こうして多くの新鋭がしのぎを削る中でも、ひとときを輝きを放っているのが、オーケストラとの共演、ソロ、室内楽で八面六臂の活躍中の横坂源である。

13歳でオーケストラと共演、さらに難関のミュンヘン国際コンクールで2位という快挙を成し遂げ、出光賞ほか数々の受賞歴も誇る、若き名手である横坂。スケールの大きさ、温かみのある磨かれた音色が持ち味だが、ザ・シンフォニーホールでは早くから彼の才能に注目していたのだ。有望株が出演する「3大協奏曲」次世代を担う未来の巨匠たちに、過去3回、横坂を抜擢。ドヴォルザーク、ハイドンの協奏曲名作の演奏を通じて、関西の聴衆にもその実力は次第に知られるようになっていった。そして3月14日、満を持してソロ・リサイタル「elegy」を開催し、小品からソナタまで

多彩な選曲で挑む。

コンサートタイトルの「elegy」は、フォーレの歌曲「エレジー」からとられたものだが、横坂のチェロにはつねに洗練された歌があり、カンタービレで深々とした音色を響かせる手腕にも長けているだけに、フォーレ「夢のあとに」やラフマニノフ「ヴォカリーズ」といったリリカルな小品で、流麗かつ典雅な世界を築き上げるだろう。また既に録音でも好評を得ているバッハからは「無伴奏チェロ組曲第1番」、大チェリストのカサドの名曲「親愛なる言葉」、そして民族性と技巧性が際立つファリャ「火祭りの踊り」など、横坂の多面的な魅力がたつぷりと詰まったプログラムになっている。ラフマニノフの「チェロ・ソナタ短調」では、この作曲家ならではのノスタルジック漂う美しさを十全に表現してくれるにちがいない。

共演のピアニストも非常に豪華だ。日本人としてジュネーヴ国際コンクールを初めて制した萩原麻未が出演する。横坂とはすでに



メシアンの名作「世の終わりのための四重奏曲」で共演するなど、気心の知れた間柄である。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、アンサンブルにも長けた萩原。若手の中でも指折りの実力をもつ彼女のサポートを得て、横坂がどんな演奏を繰り広げるのか。おそらく横坂自身が、音楽家としての大きな飛躍を遂げる一夜になることだろう。

(文) 伊藤制子

発売中

[チェロ]横坂 源 [ピアノ]萩原麻未

J.S.バッハ:プレリュード〜無伴奏チェロ組曲 BWV1007 第1番より/カサド:親愛なる言葉/フォーレ:エレジー op.24/夢のあとに/ファリャ:火祭りの踊り/シューマン:アダージョとアレグロ op.70/ラフマニノフ:ヴォカリーズ op.34-14/チェロ・ソナタ 短調 op.19 ほか

2020.3/14(土) 7:00PM

全席指定 3,300円(税込)

[お問合せ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール



より多彩に、 より多くの音楽ファンへ オオサカ・シオン・ウインド・ オーケストラ 定期演奏会

OSAKA SHION WIND オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ ORCHESTRA 2020-2021

**2021
3/20
(SAT)**

第135回
2:00PM開演
指揮：西村 友
ピアノ：松永貴志

クラシックとジャズと
吹奏楽の融合！
楽団創立年の1923年頃に
作曲された音楽を取り上げる

指揮者メッセージ

定期演奏会シリーズ、シーズンのラストを飾るコンサートは、正指揮者・西村友がタクトをとります。いよいよ2023年に創立100周年を迎えるオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ。100年前の1923年頃、世界ではどんな曲が生まれていたのでしょうか…。イギリスで、フランスで、アメリカで、ハンガリーで…。同時期に作曲されながら驚くほどヴァリエティに富んだ名曲たち。“若き天才”松永貴志氏と西村友の2度目の共演も聴きどころです！

PROGRAM

R.ヴォーン・ウィリアムズ：イギリス民謡組曲／ラヴェル（西村 友 編曲）：ラ・ヴァルス／ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー／バルトーク（西村 友 編曲）：中国の不思議な役人op.19（ほか）

**2020
11/26
(THU)**

第133回
7:00PM開演
指揮：秋山和慶
（芸術顧問）

多くの吹奏楽愛好家に
支持されている
アメリカ吹奏楽の魅力を
秋山和慶と届ける

指揮者メッセージ

2020年の11月26日に私が指揮をする予定の第133回定期演奏会では、現代アメリカを代表する作曲家のロバート・ジェイガーとアルフレッド・リードの交響曲等を取り上げることになりました。御両人共、世界中でプロ・アマを問わず演奏される機会の多い作曲家で、の本の吹奏楽愛好家にも大変人気のある方々です。Shionの楽団員もきっと張り切った気合の入った演奏をしてくれるものと、私も今から期待しております。どうぞ皆さま、お気軽にザ・シンフォニーホールに足をお運び下さって、Shionの豪快なサウンドをお楽しみいただければ幸いです。

PROGRAM

R.E.ジェイガー：シンフォニア・ノビリッシマ／交響曲第1番／A.リード：交響曲第3番／エルサレム讃歌

2020—2021シーズン 定期会員（マイシートプラン）

1年を通じて同じお席でお聴きいただけるマイシートプラン！
年間の演奏会（6回）をまとめて購入すると、最大34%割引！

席種	年間金額	1回あたり
S席会員	19,800円	3,300円
A席会員	17,800円	2,967円
B席会員	14,800円	2,467円

★チケット情報 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円 C 1,500円
ベア 7,000円（税込）
※学生割引（S、A、B 1,000円引き）、ベア席はShionチケットセンターのみでの販売となります。※C席はShionチケットセンター、Shionオンラインチケットのみ※ベア席はShionチケットセンターのみ※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

★一般発売日 第130回：1/30（木）、第131回：3/9（月）、第132回：6/15（月）、第133回：8/24（月）、第134回：11/2（月）、第135回：12/21（月）

定期会員（マイシートプラン）お年玉キャンペーン！

■実施期間 2020年1月14日（火）～1月23日（木）
■実施内容 年間定期会員（S席会員）：上記期間中に限り通常価格より50%引きの15,000円
学生定期会員：上記期間中に限り年間金額6,000円よりさらに50%引きの3,000円
※表示価格は全て消費税込金額です ※学生定期会員のチケットは当日会場でお渡しです。事前にお席は選べません。
お問い合わせ：Shionチケットセンター 0800-919-5508
主催：公益社団法人 大阪市音楽団

**2021
1/31
(SUN)**

第134回
2:00PM開演
指揮：齊藤一郎

テーマは「祭り」！様々な
国や地域に住む
民族の特色を「祭りの
音楽」を通して感じる

指揮者メッセージ

恋焦がれたShionとの初定期が決まり、感激MAXIMO！な齊藤です。全曲「祭り」がテーマ、(「マ」ハ)。勇壮でエレガントなケックランのコーラル。妖麗な響きに包まれたラテンの極みをニクソンで。熱狂の後には神と自然に感謝し、スミス作品では贅肉の削ぎ落とされたスタイリッシュなShionサウンドを。原始日本民族の心を叙情的に描いた伊藤康英作品は魂の根幹に響き、「メキシコの祭り」では人生に感謝する。まさに音楽と祭りに国境なし！パッション全開をどうぞ期待！

PROGRAM

C.L.E.ケックラン：民衆の祭りのためのコーラル／R.ニクソン：太平洋の祭り／W.F.マクベス：聖歌と祭り／C.T.スミス：フェスティバル・ヴァリエーション／伊藤康英：吹奏楽のための抒情的「祭り」／H.O.リード：メキシコの祭り

**2020
4/23
(THU)**

第130回
7:00PM開演
指揮／作曲：
フランコ・チェザリーニ

フランコ・チェザリーニが
日本初登場！
名曲に感化され
作り上げた3曲を披露

指揮者メッセージ

日本の皆さんこんにちは。今回私が日本で初めて指揮をする記念すべき演奏会をShionとの共演で行なえることをとても楽しみにしています。日本では、私の作品が、プロの演奏会から、多くの中学生や高校生の方々が参加する全日本吹奏楽コンクールまで、幅広くとりあげられ親しまれていると聞きます。今回はその中から厳選した3曲を演奏します。来春、ザ・シンフォニーホールでお会いしましょう！

PROGRAM

～オール・チェザリーニ・プログラム～
交響詩「アルプスの詩」／ビザンティンのモザイク画／交響曲第2番「江戸の情景」

**2020
9/19
(SAT)**

第132回
2:00PM開演
指揮：下野竜也

下野竜也との再共演は、
序曲と交響曲2曲。
管弦楽の繊細さと軍楽隊の
力強さを体感する！

指揮者メッセージ

大阪フィル在籍時より、幾度となく演奏会に足を運んだオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラの定期演奏会に出演させて頂きます事とても嬉しく思います。実は20年前、小学校向けの演奏会で指揮をさせて頂きました。ドラえもんを指揮しました。あれから20年。吹奏楽での交響曲二曲。私が1番ワクワクしているかもしれません。

PROGRAM

藤掛廣幸：吹奏楽のための協奏的序曲／G.A.ジロー：交響曲第5番「エレメンツ」／マスランカ：交響曲第4番

●
すべての音楽、
吹奏楽ファンに届ける
画期的なプログラムが満載！
進化し続けるShionの演奏、
感動のシーンは見逃せない！
●

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラが2020年度にザ・シンフォニーホールで開催する全6回の定期演奏会は、趣向を凝らした画期的なプログラムのオンパレード。吹奏楽作曲家として近年人気のあるフランコ・チェザリーニの指揮による日本初の公演を幕開けに、汐澤安彦との初共演をはじめ、下野竜也、齊藤一郎、楽団芸術顧問の秋山和慶、楽団正指揮者の西村友を招いて開催される。オリジナル、クラシック、ジャズ、さらには祭りを題材にした楽曲など。そんな様々な表情を見せることで、吹奏楽の可能性とその魅力を再発見できることだろう。パワーアップし続けるShionの快演に期待が高まる。

**2020
6/7
(SUN)**

第131回
2:00PM開演
指揮：汐澤安彦

指揮者 汐澤安彦と
初共演！
全7曲、クラシック音楽の
名曲ばかりの演奏会

指揮者メッセージ

今回初めてShionと共演することになりました指揮の汐澤安彦です。この演奏会では、吹奏楽版アレンジをきっかけにしてよく演奏されるようになったクラシックの作品をたっぷりとお聴きいただきます。Shionのパフォーマンスを最大限に引き出すコンサートになると思いますので、どうぞご期待ください。

PROGRAM

バーンスタイン（C.グランドマン 編曲）：キャンティード序曲／リスト：ハンガリー狂詩曲第2番／ワーグナー（L.カイエ 編曲）：歌劇「ローエングリン」から「韃靼人の踊り」／ショスタコーヴィチ（D.ハンスパーガー 編曲）：祝典序曲op.96／シャブリエ（M.H.ハインズレイ 編曲）：狂詩曲「スペイン」／チャイコフスキー（M.L.レイク 編曲）：序曲「1812年」 op.49

音楽を愛する団体が集い、夢を発信する 「ザ・シンフォニーホール」。

長い歴史の伝統の音とスタイルを継承してきた「早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド」。得意のマーチングと吹奏楽ならではの勢いのあるサウンドは必聴です。創立50周年を迎える、「大阪市民管弦楽団」。記念すべき節目を迎える今回の定期演奏会は、オーケストラによる表現の可能性を感じさせるプログラムで聴きごたえ抜群です。音楽を奏でること、そしてその時間を大切にしている2楽団からのメッセージをお届けします!

♪2020年1月からの開催予定公演♪

関西シティフィルハーモニー交響楽団
第68回定期演奏会



2020.1/26(日)

創立60年記念
ヤマハ吹奏楽団特別公演 奏でる匠のオト



2020.2/16(日)

早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド
第61回定期演奏会



2020.2/22(土)

大阪市民管弦楽団
創立50周年記念 第91回定期演奏会
トヨタコミュニティコンサート



2020.3/20(金・祝)

近畿大学附属高等学校吹奏楽部
第47回 定期演奏会



2020.3/30(月)

東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部
第31回定期演奏会



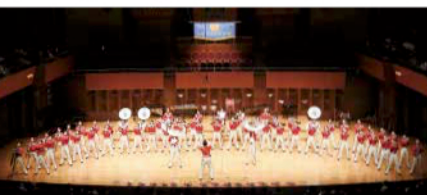
2020.5/6(水・休)

MESSAGE

早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド

発売中

第46回では、私たちの得意とするマーチングを初めて披露させてもらった時は会場で沸きました。以降15年間、毎年マーチングを披露しています。



早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド
第61回定期演奏会

[出演] 早稲田摂陵高等学校ウィンドバンド
[指揮] 西出孝明、川口 尚、加島綾佳

梅屋雅徳：銀河鉄道の夜
八木澤教司：あすという日が
J.シュトラウスI：美しく青きドナウ ほか

2020.2/22(土)2:00PM/6:00PM

入場料 1,500円

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 早稲田摂陵高等学校吹奏楽コース 072-640-0680

早稲田摂陵高等学校ウィンドバンドは、1957年に阪急少年音楽隊として発足しました。その後、男子から女子バンドへ変わり、阪急から早稲田へと変わりましたが、伝統のサウンドとスタイルは今日まで変わることなく引き継がれ、日々練習に励んでいます。

今回は、第61期生の卒業を記念してのコンサートであり、これまで支えてくださったすべての方々に感謝するコンサートにしたいと思います。クラシック、マーチ、ポップスなど様々なジャンルの演奏だけではなく、卒業生の伴奏による生徒達のコーラス、動きのあるマーチングなど、幅広いパフォーマンスをお届けします。

MESSAGE

大阪市民管弦楽団 創立50周年記念 第91回定期演奏会 トヨタコミュニティコンサート

1/20(月)
発売

今回の公演は、トヨタ販売店・トヨタ自動車と共催する「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)として行います。TCCはアマチュア



大阪市民管弦楽団
創立50周年記念 第91回定期演奏会
トヨタコミュニティコンサート

[指揮] 牧村邦彦 [管弦楽] 大阪市民管弦楽団
ベートーヴェン：交響曲 第3番「英雄」
ショスタコーヴィチ：交響曲 第9番
チャイコフスキー：序曲「1812年」

2020.3/20(金・祝)2:00PM

S 2,000円 A 1,500円

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問合せ] 大阪市民管弦楽団 090-9050-6199

大阪市民管弦楽団は1970年、数人のクラシック音楽を愛する市民が「私たちの手でオーケストラを」を合言葉に活動を開始した社会人オーケストラです。2070歳代と幅広い年齢層の団員が在籍し、年2回の定期演奏会、年末の第九演奏会が活動の中心となっています。

当団は本年創立50周年を迎えました。その歴史の中で特筆すべきは1985年に初舞台を経験したザ・シンフォニーホールです。翌々年以降は毎年演奏会を開催しており、私たちはホールに育てられたと言っても過言ではありません。